

第4章 農業、鉱業を含めた産業廃棄物

第1節 農業

農業からの産業廃棄物は、関係部門の資料を基に畜産農業からの動物のふん尿及び施設園芸農業からの廃プラスチック類について調査を実施した。

結果は表 4-1-1～3 のとおりである。

表 4-1-1 農業からの産業廃棄物

(単位:千 t /年)

対象物	関連資料の出典等	排出量
動物のふん尿	※活動量:「都道府県別家畜・鶏飼養頭羽数」 (「畜産統計年鑑」総務省統計局)による ※ふん尿発生原単位:「堆肥化施設設計マニュアル」 (中央畜産会)による	737
農業系廃プラスチック類	※発生量:農業用廃プラスチックに関する調査による	0.097
	合 計	737

表 4-1-2 動物のふん尿

(単位:千 t /年)

減量化量	最終処分量	再生利用量	合計
29	0	708	737

表 4-1-3 農業系廃プラスチック類

(単位:千 t /年)

再生処理	埋立処理	焼却処理	その他	合計
0	0.009	0.044	0.044	0.097

第2節 鉱業

鉱業からの排出量は 966 千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図 4-2-1 に示すように汚泥が 963 千トンと全体の 99.6% を占めている。

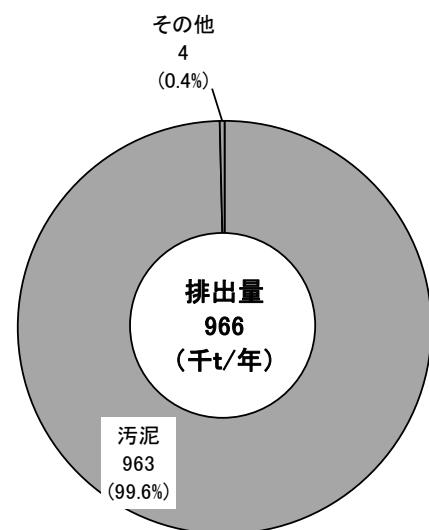
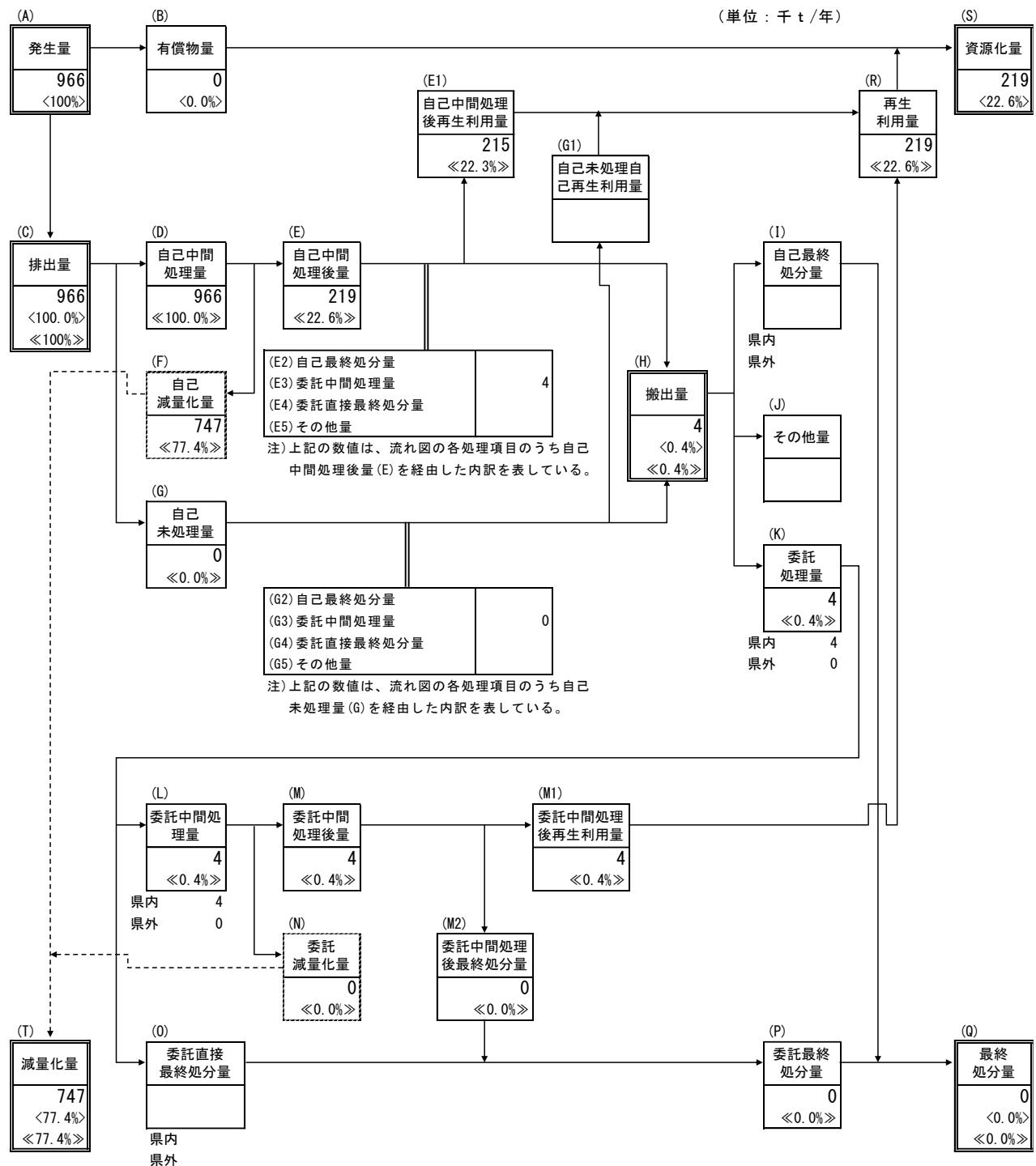


図 4-2-1 鉱業の種類別排出量



注) 1. 発生量等の数値は、t/年でとらえたデータを四捨五入し、千t/年で示した。
2. < >内の数値は発生量に対する割合を、<< >>内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 4-2-2 鉱業からの排出及び処理状況

第3節 農業、鉱業を含めた排出量等

1. 発生から処理・処分までの流れ

農業、鉱業を含めた発生から最終処分までの産業廃棄物の流れは、図 4-3-1 に示すとおりである。

令和 5 年度の処理・処分状況を概要でみると、排出量 8,214 千トンのうち、再生利用量は 3,294 千トン(排出量の 40.1%)、中間処理による減量化量は 4,698 千トン(57.2%)、最終処分量は 222 千トン(2.7%)、その他量は 1 千トン未満となっている。

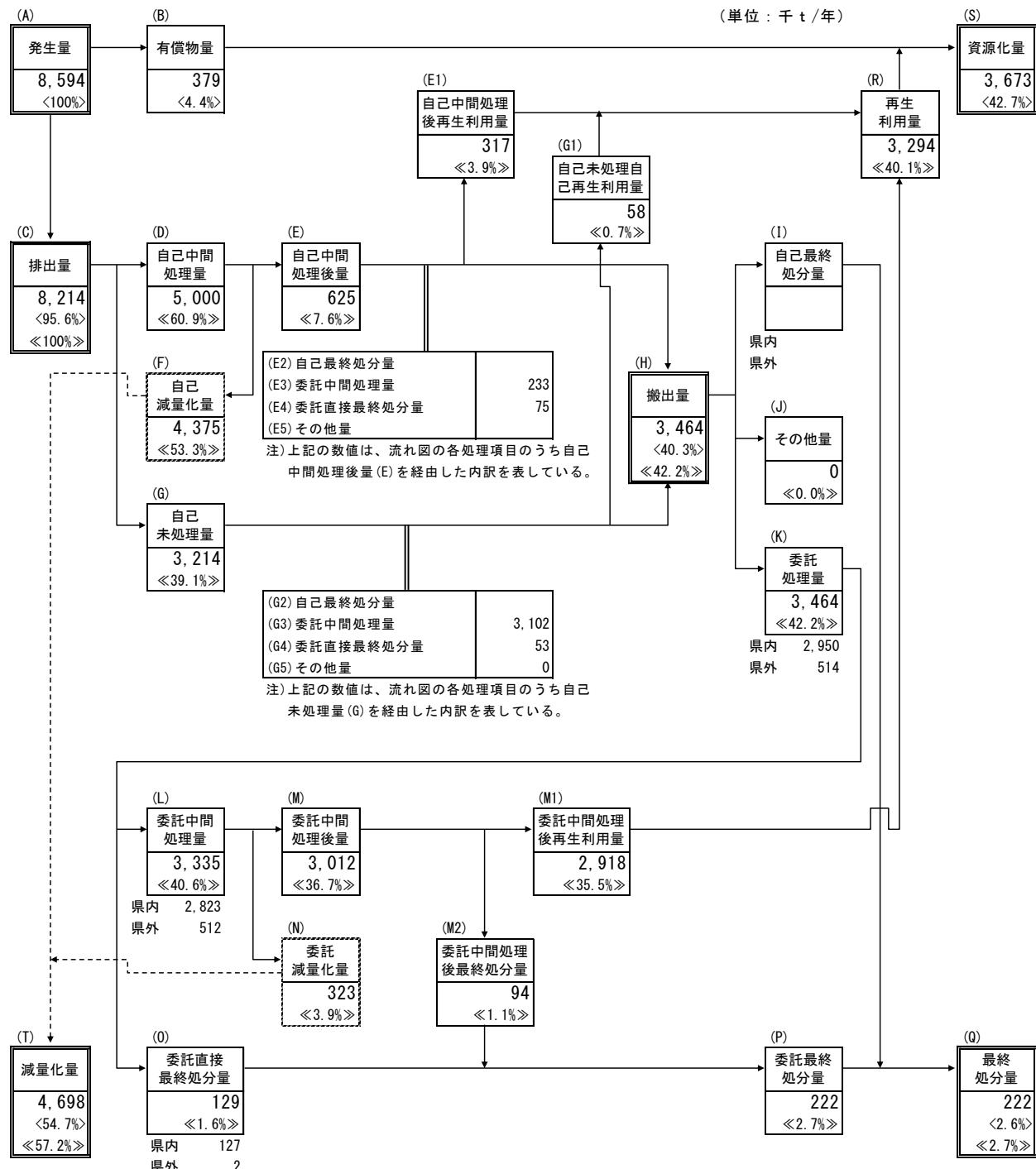


図 4-3-1 発生から処理・処分までの流れ

2. 農業、鉱業を含めた総排出量

農業、鉱業を含めた産業廃棄物の総排出量は、8,214 千トンとなっている。

業種別種類別の排出量は、表 4-3-1 に示すとおりである。

表 4-3-1 農業、鉱業を含めた総排出量

	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	物品貿易業	学術・開発	宿泊・飲食	生活関連業	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス業	サービス業	農業	鉱業	合計
燃え殻	0	13	10				0		0								23
汚泥	106	2,716	1,026		3	2		1	1	0	0	0	0	177		963	4,995
廃油	0	78	0		0	2		1	0	0	0	0	0	0		0	82
廃酸	0	86	0	0	0	0		0		0	0	0		8			95
廃アルカリ	0	112	2		0	2		0		0	0	0		3			119
廃プラスチック類	24	119	0	0	2	11	0	0	0	1	4	5	0	1	0	0	167
紙くず	4	0															4
木くず	141	23	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	167
繊維くず	2	0															2
動植物性残さ		41															41
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0	5				0											5
金属くず	7	28	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
ガラス陶磁器くず	46	236	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	286	
鉱さい	0	49	0				0										49
がれき類	1,214	27	3	0	1	2	4	18	8	3	0	0	0	0	3	1,281	
ばいじん	5	63	14														81
動物のふん尿															737		737
水銀廃棄物	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0			0
その他産業廃棄物	12	7	0	0	0	3	0	0	0	0	2	19	0	0			44
計	1,561	3,600	1,055	0	8	25	5	20	9	6	6	24	0	189	738	966	8,214

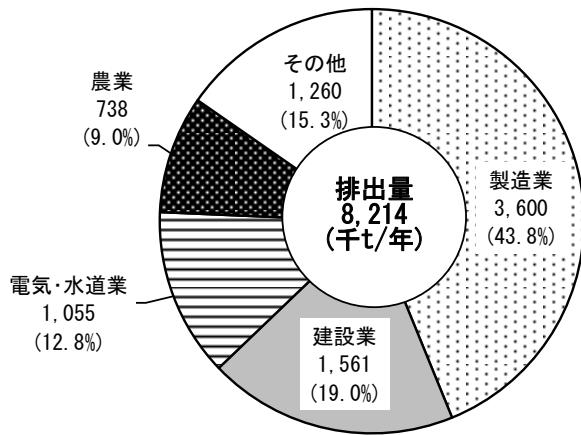


図 4-3-2 排出量の業種別割合

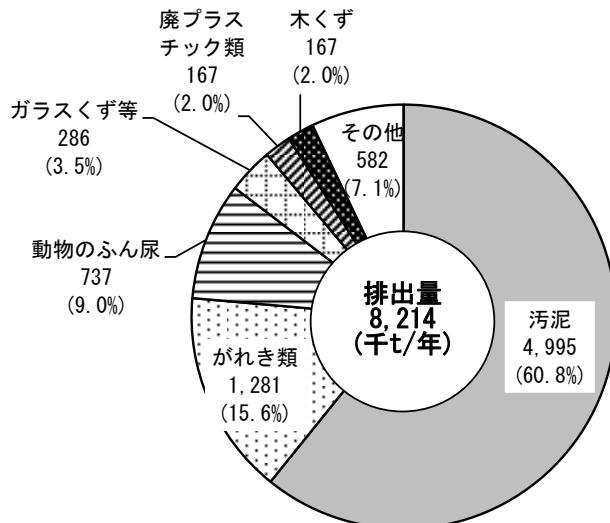


図 4-3-3 排出量の種類別割合

3. 農業、鉱業を含めた再生利用量

農業、鉱業を含めた産業廃棄物の再生利用量は、3,294 千トンとなっている。

業種別種類別の排出量は、表 4-3-2 に示すとおりである。

表 4-3-2 農業、鉱業を含めた再生利用量

	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	物品貿易業	学術・開発	宿泊・飲食	生活関連業	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス業	サービス業	農業	鉱業	(単位:千t/年)
燃え殻	9	20	11		0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
汚泥	60	164	67		0	1		1	0	0	0	0	0	0	215	509	
廃油	0	37	0		0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	39	
廃酸	0	22	0	0		0		0		0	0	0	0	5		27	
廃アルカリ	0	29	2		0	1		0		0	0			1		33	
廃プラスチック類	18	71	0	0	2	10	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	107
紙くず	4	0															4
木くず	139	17	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159	
繊維くず	2															2	
動植物性残さ			20														20
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0					0											0
金属くず	6	28	0	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	37
ガラス陶磁器くず	38	204	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	244	
鉱さい	0	46	0					0									46
がれき類	1,164	25	3	0	1	1	3	17	0	3	0	0	0	0	3	1,220	
ばいじん	5	63	14														81
動物のふん尿															708	708	
水銀廃棄物	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	
その他産業廃棄物	8	5	0	0	0	1	0	0		0	1	1	0	0		17	
計	1,454	751	96	0	5	19	4	20	0	5	1	5	0	8	708	219	3,294

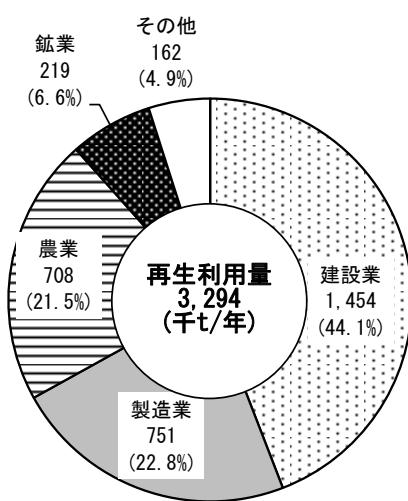


図 4-3-4 再生利用量の業種別割合

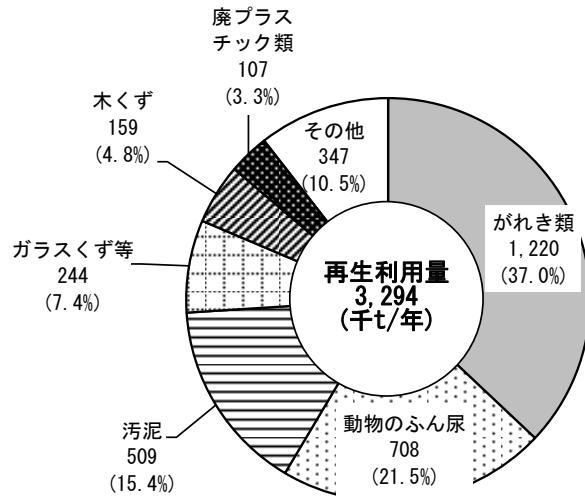


図 4-3-5 再生利用量の種類別割合

4. 農業、鉱業を含めた最終処分量

農業、鉱業を含めた産業廃棄物の最終処分量は、222千トンとなっている。

業種別種類別の排出量は、表 4-3-3 に示すとおりである。

表 4-3-3 農業、鉱業を含めた最終処分量

	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	物品貿易業	学術・開発	宿泊・飲食	生活関連業	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス業	サービス業	農業	鉱業	(単位:千t/年)
燃え殻	0	4	0		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
汚泥	13	97	0		1	0		0	0	0	0	0	0	0	2	0	113
廃油	0	0			0	0		0					0		0	0	0
廃酸	0	0	0					0				0	0		0	0	0
廃アルカリ	0	0	0			0		0				0	0		0	0	0
廃プラスチック類	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	21
紙くず	0																0
木くず	1	0			0				0		0			0		1	1
繊維くず	0	0														0	0
動植物性残さ		0														0	0
動物系固形不要物																	0
ゴムくず		5															5
金属くず	0	0			0	0	0	0	0		0	0					1
ガラス陶磁器くず	8	5	0		0	0		0	0	1		0	0				14
鉱さい		3															3
がれき類	40	2	0	0	0	1	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	52
ばいじん		0	0														0
動物のふん尿																	0
水銀廃棄物	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0					0
その他産業廃棄物	4	1	0	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	7
計	72	128	0	0	2	2	1	0	8	1	4	2	0	2	0	0	222

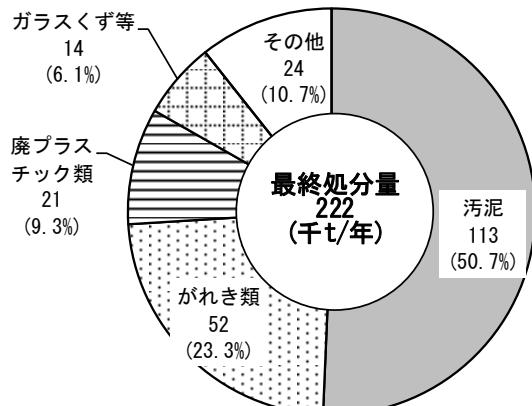
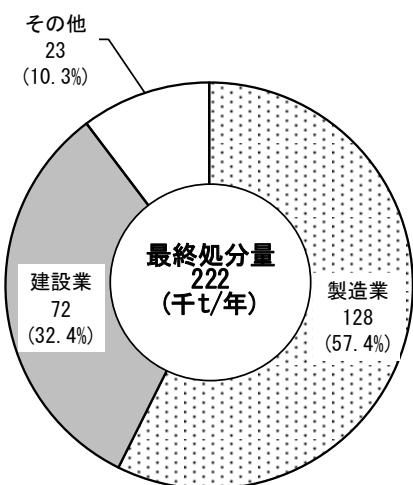


図 4-3-6 最終処分量の業種別割合

図 4-3-7 最終処分量の種類別割合